

資料編

施設基準の設定	14
職員数の設定	15
診療科別患者数の設定	16
収支計画の基本設定	17
入院収入の設定	18
外来収入及び室料差額収入の設定	20
職員給与費及び減価償却費の設定	21
商業施設等が一体となった病院事例	22
収支計画	A3

施設基準の設定

No	所在地	病床数	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築費 (千円)	1床当り		1㎡当り
							面積 (㎡)	費用 (千円)	費用 (千円)
1	滋賀県	130	15,763	3,142	6,292	2,870,000	48.4	22,077	456
2	宮城県	100	21,267	3,473	8,026	3,480,771	80.3	34,808	434
3	秋田県	120	14,950	5,260	5,857	2,140,900	48.8	17,841	366
4	秋田県	168	18,389	4,631	10,734	2,752,547	63.9	16,384	256
5	静岡県	140	19,618	4,953	9,142	3,316,000	65.3	23,686	363
6	熊本県	100	9,630	2,538	5,328	1,693,300	53.3	16,933	318
7	秋田県	180	8,557	4,475	10,936	4,322,881	60.8	24,016	395
8	石川県	100	11,456	4,106	7,374	2,712,300	73.7	27,123	368
9	滋賀県	164	12,312	4,701	14,937	3,783,876	91.1	23,072	253
11	山口県	115	19,576	4,278	8,290	2,977,000	72.1	25,887	359
12	宮崎県	120	22,448	3,515	8,084	2,935,890	67.4	24,466	363
13	鹿児島県	187	6,834	6,834	13,675	7,240,000	73.1	38,717	529
14	熊本県	150	22,626	5,033	10,506	2,951,500	70.0	19,677	281
15	熊本県	141	14,111	4,820	10,564	3,322,725	74.9	23,565	315
16	宮崎県	120	19,333	4,384	8,863	2,333,000	73.9	19,442	263
17	宮城県	120	21,152	6,140	8,581	2,857,000	71.5	23,808	333
18	神奈川県	136	13,757	3,011	9,179	3,020,000	67.5	22,206	329
19	鳥取県	198	15,675	6,011	15,633	4,123,000	79.0	20,823	264
20	岡山県	105	15,122	5,610	9,830	2,744,579	93.6	26,139	279
21	北海道	120	15,100	4,519	8,799	3,614,900	73.3	30,124	411
22	高知県	150	11,087	4,101	13,633	4,246,129	90.9	28,308	311
23	宮崎県	147	19,400	4,864	11,672	3,797,000	79.4	25,830	325

1～23	平均	15,137	4,365	9,389	3,184,143	68	23,258	329
14～23	平均	16,736	4,849	10,726	3,300,983	77	23,992	311

※JIHAデータベースより

※14番以降は、2000年以後に竣工したもの

※「1床あたり費用（面積）」は、建築費（延床面積）を病床数で除したもの

※「1㎡あたり費用」は、建築費を延床面積で除したもの

職員数の設定

◎看護職員数の設定(准看護師含む)

A案(療養型あり)・・・123人

B案(療養型なし)・・・132人

*1 医療型療養の有無により設定数が異なる。

*2 (*3)と(*4)の多い数値を採用

*3 配置基準考慮…病床数×利用率÷配置基準×3×365日÷221日(切上げ)で算出

*4 夜勤対応考慮…(夜勤に必要な配置数)(準夜勤+夜勤)×8時間×30日÷72時間(切上げ)で算出

部門	病床数 (床)	管理職員 (人)	看護師数 *2 (人)	配置基準	病床利用率 (%)	1日当り必要配置数 (人)	勤務時間帯別配置数					合計 (人)	配置基準考慮 *3 (人)	夜勤対応考慮 *4 (人)	
							日勤 (人)	準夜勤 (人)	深夜勤 (人)	深夜勤後待機 (人)	合計 (人)				
看護部長・副部長	-	3													
共通	回復期リハ	50	1	18	13:1	90	11.0	7.0	2.0	2.0	2.0	13.0	18.0	14.0	
	一般病床	50	1	23	10:1	90	14.0	8.0	3.0	3.0	3.0	17.0	23.0	20.0	
	一般病床	49	1	22	10:1	90	14.0	8.0	3.0	3.0	3.0	17.0	22.0	20.0	
*1	(A案)療養病棟	50	1	14	25:1	90	6.0	2.0	2.0	2.0	2.0	8.0	9.0	14.0	
	(B案)一般病床	50	1	23	10:1	90	14.0	8.0	3.0	3.0	3.0	17.0	23.0	20.0	
(A案)一般病棟合計		199	4	77											
(B案)一般病棟合計		199	4	86											

共通	外来部門	-	1	14	法基準は30:1だが、業務量を考慮し20:1で配置								
	手術部門	-	1	10	手術室1室あたり2.5名、手術室4室と仮定								
	内視鏡部門	-		5	内視鏡室1室あたり1人配置(内視鏡室5室を想定)								
	透析部門	-		3	看護師1人あたり患者5人とし、ベッド数15ベッドと想定								
	化学療法部門	-		5	看護師1人あたり患者3人とし、ベッド数15ベッドと想定								
その他部門合計		-	2	37									

(A案)看護師総数	-	9	114	123
(B案)看護師総数	-	9	123	132

◎その他職員数の設定

H23年度病院経営実態調査報告データにより設定

*5 回復期リハビリテーション病棟の設置によりリハ職員を増員

増加する1日あたりリハビリ単位数=回復期リハ病棟の病床数(50床)×病床利用率(95%)×6単位=270単位

増員が必要となるスタッフ=270単位×7日÷108単位(診療報酬で定められている職員の業務量限界)=17.5人

	最終設定	100床当り職員数	199床換算	加算要素
薬剤師	5.8人	2.9人	5.8人	
その他医療技術職員	47.9人	15.3人	30.4人	*5
看護補助者	30.5人 (39.5人)	11.3人	22.5人	回復期リハビリテーション病棟の設置により増員(30:1で配置)→8人 療養病棟の設置により増員(25:1で配置)→9人
その他技能労務員	10.3人	5.2人	10.3人	
事務職員	24.3人	12.2人	24.3人	

診療科別患者数の設定

※ 医師1人あたり患者数は、「平成23年病院経営分析調査報告」より設定。

※ リハビリテーション科の入院患者数は、回復期リハビリテーション病棟の関係で50床に固定。

※ 療養病棟を設置する場合は、50床で固定。

療養型あり	医師数	入院			外来		
		医師1人 当り 患者数	想定 患者数 (計算上)	補正後 患者数 (定数)	医師1人 当り 患者数	想定 患者数 (計算上)	補正後 患者数
内科	8.0	10.4	83.2	50.5	15.6	124.8	82.5
小児科	2.0	1.7	3.4	2.1	14.9	29.8	19.7
外科	4.0	6.1	24.4	14.8	7.6	30.4	20.1
整形外科	3.0	11.2	33.6	20.4	26.0	78.0	51.6
産婦人科	2.0	3.7	7.4	4.5	12.3	24.6	16.3
眼科	1.0	2.3	2.3	1.4	26.6	26.6	17.6
リハビリテーション科	3.0	15.0	45.0	50.0	16.5	49.5	32.7
泌尿器科及び人工透析	2.0	4.0	8.0	4.9	17.0	34.0	22.5
耳鼻咽喉科	1.0	0.7	0.7	0.4	25.9	25.9	17.1
療養病棟	—		50.0	50.0			
合 計	26.0		258.0	199.0		423.6	280.0

療養型なし	医師数	入院			外来		
		医師1人 当り 患者数	想定 患者数 (計算上)	補正後 患者数 (定数)	医師1人 当り 患者数	想定 患者数 (計算上)	補正後 患者数
内科	8.0	10.4	83.2	76.1	15.6	124.8	82.5
小児科	2.0	1.7	3.4	3.1	14.9	29.8	19.7
外科	4.0	6.1	24.4	22.3	7.6	30.4	20.1
整形外科	3.0	11.2	33.6	30.7	26	78.0	51.6
産婦人科	2.0	3.7	7.4	6.8	12.3	24.6	16.3
眼科	1.0	2.3	2.3	2.1	26.6	26.6	17.6
リハビリテーション科	3.0	15	45	50.0	16.5	49.5	32.7
泌尿器科及び人工透析	2.0	4	8	7.3	17	34.0	22.5
耳鼻咽喉科	1.0	0.7	0.7	0.6	25.9	25.9	17.1
療養病棟	—						
合 計	26.0		208.0	199.0		423.6	280.0

収支計画の基本設定

(1) 医 業 収 益 (ア)	
入 院 診 療 収 益	「入院収入の設定」(P.18)にて試算
外 来 診 療 収 益	「外来収入及び室料差額収入の設定」(P.20)にて試算
そ の 他 医 業 収 益	
室 料 差 額 収 益	「外来収入及び室料差額収入の設定」(P.20)にて試算
公 衆 衛 生 (健 診 等) 収 益	外来収益比率4.5%設定
そ の 他	(入院+外来)収益比率1.5%設定
(2) 医 業 外 収 益 (イ)	
国 交 付 金	国の交付基準による
一 般 財 源 繰 入 金	一般会計からの繰出金額の積算基準例を参照
そ の 他 医 業 外 収 益	考慮しない
(3) 看 護 師 養 成 事 業 収 益 (ウ)	考慮しない

(1) 医 業 費 用 (エ)	
給 与 費	
給 与 ・ 手 当 ・ 賞 与	「職員給与費及び減価償却費の設定」(P.21)にて試算
非 常 勤 職 員	上記に含む
臨 時 給 与	上記に含む
退 職 給 与 金	医業収益比率2.3%設定
法 定 福 利 費	医業収益比率6.6%設定
材 料 費	
薬 品 費	医業収益比率8.2%設定
診 療 材 料 費	医業収益比率6.5%設定
給 食 材 料 費	医業収益比率0.8%設定
医 療 消 耗 備 品	医業収益比率0.2%設定
経 費	医業収益比率14.4%設定
報 償 費 ・ 福 利 費 ・ 旅 費 ・ 被 服 費	経費として一括計上
消 耗 品 ・ 消 耗 備 品 費	
光 熱 水 費 ・ 燃 料 費	
委 託 料	
修 繕 費	
賃 借 料	
食 糧 ・ 印 本 ・ 保 険 ・ 通 信 ・ 諸 会 ・ 雑 費	
減 価 償 却 費	「職員給与費及び減価償却費の設定」(P.21)にて試算
既 存 分	想定しない
資 産 減 耗 費	医業収益比率0.1%設定
研 究 研 修 費	医業収益比率0.4%設定
(2) 医 業 外 費 用 (オ)	
企 業 債 利 息	
既 存 (現 病 院) 分	想定しない
新 病 院 関 係 分	施設 30年(5年)1.5% 機器 5年(1年)1.0%~2.0%
雑 損 失 (消 費 税 等)	対「材料費+経費」比率5.0%設定
(3) 看 護 師 養 成 事 業 費 用 (カ)	想定しない
(4) 特 別 損 失 (キ)	想定しない

※平成23年病院経営実態調査報告、100~199床市町村・組合立病院、黒字病院の実績より

入院収入の設定

※ 病床数は、「診療科別患者数の設定」の補正後患者数を採用。

※ 入院診療単価は、平成23年病院経営実態調査報告(100床～199床市町村・組合立病院実績)で設定。

※ 患者数は、病床数に病床利用率を乗じて算出。

(開院時80%、2年目85%、3年目以降90%に病床利用率を設定)

※ 年間入院収入は、診療単価×患者数×年間日数により算出。

療養型あり	病床数 (床)	診療 単価 (円)	患者数 (人)			年間入院収入 (千円)			
			開院時	2年目	3年目 以降	開院時	2年目	3年目 以降	*閏年
内科	50.5	26,737	40.4	43.0	45.5	394,518	419,175	443,832	445,048
小児科	2.1	37,933	1.7	1.8	1.9	22,873	24,303	25,732	25,803
外科	14.8	35,873	11.9	12.6	13.3	155,234	164,937	174,639	175,117
整形外科	20.4	32,803	16.3	17.3	18.4	195,471	207,688	219,905	220,508
産婦人科	4.5	47,561	3.6	3.8	4.0	62,418	66,320	70,221	70,413
眼科	1.4	58,115	1.1	1.2	1.3	23,705	25,187	26,669	26,742
リハビリテーション科	50.0	24,900	40.0	42.5	45.0	363,540	386,261	408,983	410,103
泌尿器科及び人工透析	4.9	36,705	3.9	4.1	4.4	52,077	55,332	58,587	58,747
耳鼻咽喉科	0.4	38,011	0.3	0.4	0.4	4,719	5,014	5,309	5,323
療養病棟	50.0	16,041	40.0	42.5	45.0	234,196	248,834	263,471	264,193
合 計	199.0		159.2	169.2	179.1	1,508,753	1,603,050	1,697,347	1,701,997

注：合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。

療養型なし	病床数 (床)	診療 単価 (円)	患者数 (人)			年間入院収入 (千円)			
			開院時	2年目	3年目 以降	開院時	2年目	3年目 以降	*閏年
内科	76.1	26,737	60.8	64.6	68.4	593,769	630,880	667,990	669,820
小児科	3.1	37,933	2.5	2.6	2.8	34,425	36,577	38,728	38,835
外科	22.3	35,873	17.8	19.0	20.1	233,636	248,238	262,840	263,560
整形外科	30.7	32,803	24.6	26.1	27.6	294,194	312,582	330,969	331,875
産婦人科	6.8	47,561	5.4	5.7	6.1	93,943	99,814	105,686	105,975
眼科	2.1	58,115	1.7	1.8	1.9	35,678	37,908	40,137	40,247
リハビリテーション科	50.0	24,900	40.0	42.5	45.0	363,540	386,261	408,983	410,103
泌尿器科及び人工透析	7.3	36,705	5.9	6.2	6.6	78,378	83,277	88,176	88,417
耳鼻咽喉科	0.6	38,011	0.5	0.5	0.6	7,102	7,546	7,990	8,012
療養病棟									
合 計	199.0		159.2	169.2	179.1	1,734,666	1,843,082	1,951,499	1,956,845

注：合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。

入院収入の設定（２）

※ 病床数は、「診療科別患者数の設定」の補正後患者数を採用。

※ 入院診療単価は、平成23年病院経営実態調査報告（100床～199床市町村・組合立病院実績）で設定したものを2割増で設定。〈ただし、リハビリテーション科と療養病棟は除く〉

※ 患者数は、病床数に病床利用率を乗じて算出。

（開院時80%、2年目85%、3年目以降90%に病床利用率を設定）

※ 年間入院収入は、診療単価×患者数×年間日数により算出。

療養型あり	病床数 (床)	診療 単価 (円)	患者数 (人)			年間入院収入 (千円)			
			開院時	2年目	3年目 以降	開院時	2年目	3年目 以降	*閏年
内科	50.5	32,084	40.4	43.0	45.5	473,415	503,004	532,592	534,051
小児科	2.1	45,520	1.7	1.8	1.9	27,448	29,164	30,879	30,964
外科	14.8	43,048	11.9	12.6	13.3	186,283	197,926	209,568	210,143
整形外科	20.4	39,364	16.3	17.3	18.4	234,568	249,229	263,889	264,612
産婦人科	4.5	57,073	3.6	3.8	4.0	74,902	79,583	84,265	84,496
眼科	1.4	69,738	1.1	1.2	1.3	28,446	30,224	32,002	32,090
リハビリテーション科	50.0	24,900	40.0	42.5	45.0	363,540	386,261	408,983	410,103
泌尿器科及び人工透析	4.9	44,046	3.9	4.1	4.4	62,492	66,398	70,304	70,497
耳鼻咽喉科	0.4	45,613	0.3	0.4	0.4	5,663	6,017	6,370	6,388
療養病棟	50.0	16,041	40.0	42.5	45.0	234,196	248,834	263,471	264,193
合 計	199.0		159.2	169.2	179.1	1,690,956	1,796,641	1,902,325	1,907,537

注：合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。

療養型なし	病床数 (床)	診療 単価 (円)	患者数 (人)			年間入院収入 (千円)			
			開院時	2年目	3年目 以降	開院時	2年目	3年目 以降	*閏年
内科	76.1	32,084	60.8	64.6	68.4	712,514	757,046	801,578	803,774
小児科	3.1	45,520	2.5	2.6	2.8	41,311	43,893	46,475	46,602
外科	22.3	43,048	17.8	19.0	20.1	280,365	297,888	315,411	316,275
整形外科	30.7	39,364	24.6	26.1	27.6	353,037	375,102	397,166	398,255
産婦人科	6.8	57,073	5.4	5.7	6.1	112,731	119,777	126,823	127,170
眼科	2.1	69,738	1.7	1.8	1.9	42,813	45,489	48,165	48,297
リハビリテーション科	50.0	24,900	40.0	42.5	45.0	363,540	386,261	408,983	410,103
泌尿器科及び人工透析	7.3	44,046	5.9	6.2	6.6	94,054	99,933	105,811	106,101
耳鼻咽喉科	0.6	45,613	0.5	0.5	0.6	8,523	9,055	9,588	9,614
療養病棟									
合 計	199.0		159.2	169.2	179.1	2,008,891	2,134,446	2,260,002	2,266,194

注：合計額など端数処理の関係で計算が合わないことがあります。

外来収入及び室料差額収入の設定

◎外来収入の設定

- ※ 外来収入は、医療型療養の有無に関わらず同額で設定。
- ※ 患者数は、「診療科別患者数の設定」の補正後患者数を採用。
- ※ 外来診療単価は、平成23年病院経営実態調査報告(100床～199床市町村・組合立病院実績)で設定。
- ※ 年間外来収入は、診療単価×患者数×245日で算出。

共通	患者数	診療単価	年間外来収入
	(人)	(円)	(千円)
内科	82.5	12,204	246,652
小児科	19.7	5,181	25,003
外科	20.1	10,548	51,929
整形外科	51.6	5,689	71,862
産婦人科	16.3	6,008	23,935
眼科	17.6	5,670	24,425
リハビリテーション科	32.7	3,170	25,412
泌尿器科及び人工透析	22.5	17,961	98,896
耳鼻咽喉科	17.1	4,786	20,074
合計	280.0		588,188

◎室料差額収入の設定

- ※ 室料差額収入は、医療型療養の有無に関わらず同額で設定。
- ※ 有料個室数59室(全病床数対29.6%)で設定。
- ※ 病床稼働率90%で算定。
- ※ 年間収入額は、室料差額合計金額×365日で固定(参考;105,202千円)

共通	病室差額料金		差額料金合計
	5,250円	15,750円	
一般病棟	17室	1室	94,500円
回復期リハ病棟	14室	-	66,150円
一般病棟	13室	-	61,425円
(一般病棟・療養病棟)	14室	-	66,150円
合計部屋数	58室	1室	288,225円

職員給与費及び減価償却費の設定

◎職員給与費の設定

※ 年収には諸手当・賞与を含み、統計数値に基づき算定。

職員	年収 (千円)	療養型あり		療養型なし	
		職員数 (人)	小計 (千円)	職員数 (人)	小計 (千円)
医師	15,484	26	402,584	26	402,584
看護師(准看護師含む)	5,054	123	621,642	132	667,128
薬剤師	5,838	5.8	33,691	5.8	33,691
その他医療技術職員	5,208	47.9	249,708	47.9	249,708
看護補助者	2,898	39.5	114,433	30.5	88,351
その他技能労務員	3,556	10.3	36,797	10.3	36,797
事務職員	4,774	24.3	115,903	24.3	115,903
給与費総計		277	1,574,759	277	1,594,163

【参考】 民間病院並に人件費を抑制した場合

職員	年収 (千円)	療養型あり		療養型なし	
		職員数 (人)	小計 (千円)	職員数 (人)	小計 (千円)
医師	16,884	26	438,984	26	438,984
看護師(准看護師含む)	4,550	123	559,650	132	600,600
薬剤師	4,718	5.8	27,228	5.8	27,228
その他医療技術職員	3,934	47.9	188,623	47.9	188,623
看護補助者	2,716	39.5	107,282	30.5	82,803
その他技能労務員	3,066	10.3	31,727	10.3	31,727
事務職員	3,864	24.3	93,810	24.3	93,810
給与費総計		277	1,447,304	277	1,463,775

◎減価償却費の設定

※ 定額法により償却

項目	法定 耐用年数 (年)	取得額 (千円)	減価償却 対象額 (千円)	1年当り 減価償却額 (千円)
建物(本体)	39	2,417,850	2,417,850	62,864
建物(設備)	15	1,410,413	1,410,413	94,498
外構・駐車場	10	402,975	402,975	40,298
医療機器(初期投資)	6	1,000,000	1,000,000	167,000
システム(初期投資)	4	350,000	350,000	87,500
医療機器(2年度更新)	6	168,800	168,800	28,190
医療機器(3年度更新)	6	111,100	111,100	18,554

○運営形態別比較表（通常の仕組みにおける一般的な比較）

	一般独立行政法人 (概要)	評価 (主に全部適用と比較)		直接運営 一部適用 (概要)	評価	直接運営 全部適用 (概要)	評価	評価 (主に全部適用と比較)		指定管理者 (概要)
		ポイント	評価					ポイント	評価	
会計 財務	予算	繰入金にかかる部分、政策的な部分は市と調整 予算単年度主義にとらわれない。	>	市の部局で作成。 →財政課の細かい査定 予算単年度主義	<	管理者で作成、市長が調整 →査定は団体により差異あり 予算単年度主義	<	事業計画書を指定管理者から作成・提出される。予算単年度主義に比べ柔軟かつ効率的な運営が可能となる。	指定管理者が編成 事業計画書の作成・提出 予算単年度主義にとらわれない。	
	経営方針	市長が中期目標を示し、独法が中期計画を策定	>	市長の意向が反映	≡	市長と事業管理者の意向が反映	<	チェック体制は大きく変化しないが、経営悪化時、指定管理者の撤退が起こり得る。	政策医療は、契約により実施可能。 (財政的支援が必要)	
	決算	独法で作成。 外部(評価委員会)でのチェックあり→議会に報告	≡	市の部局で作成。 議会・監査のチェック	≡	管理者が作成。 議会・監査のチェック	≡	チェック体制は大きく変化しないが、経営悪化時、指定管理者の撤退が起こり得る。	指定管理者が事業報告書を作成・提出及び市の監査あり	
	資産管理	独法で購入、管理	>	固定資産は1000万以上の取得は市の部局決裁	<	全て管理者の決裁で取得が可能。	<	資産購入・管理や料金徴収、また市からの繰入金が行われるため、指定管理者独自の管理・運営が可能となる。	指定管理者が購入、管理	
	料金徴収	中期計画により定める。	≡	条例・告示等で規定	≡	管理者権限で一部の料金の決定が可能。(規程で定める)	≡	条例の定めにより指定管理者で徴収可能。	条例の定めにより指定管理者で徴収可能。	
その他	繰入金	不採算部門は市が負担 中期計画に基づいて交付	≡	不採算部門は市が負担	≡	不採算部門は市が負担	≡	契約条件による。	契約条件による。	
	契約の締結	独法で締結	>>	院長委任分以外は市が決裁	<	管理者名で契約締結が可能となる。	<<	消耗品の購買や委託業務に関する契約を指定管理者で実施することができ、個別交渉も可能となることで、従来よりも安価な消耗品購入や費用対効果が高い業務委託が可能となる。	指定管理者が締結	
	物品購入	独法で購入が可能。(個別交渉等が可)	>>	入札等は市の基準による。 →個別の交渉等が不可。	≡	一部適用と同じ。	<<	指定管理者が購入	指定管理者が購入	
	資金調達	市から長期借入を行う。(企業債の発行は不可)	<	企業債発行の長期借入が可能	≡	企業債発行の長期借入が可能	<<	指定管理者が独自で資金調達を行うため、長期借入についても民間金融機関の活用も自由に行うことができる。	指定管理者が独自で調達	
	議会対応	定款の変更、中期目標・計画の作成・変更、解散等に関与	≡	市長が議案作成、提出。	≡	管理者が議案作成、市長が提出。→実質的に一部適用時と同じ	≡	同右	指定に係る議会の議決が必要 利用料金の制定 等	
その他	職員の意識	経営意識の向上	>	経営意識の欠如 →職員の意識	≡	経営意識の向上することもある	<	指定管理者が独自で経営するため、経営管理に必要な工夫が随時行われることとなる。そのため、職員の経営意識は向上する。	経営意識の向上	
	経営責任	独立行政法人(理事長)	>	市長 →医療・病院経営の専門家ではない。	<	管理者	<	指定管理者	指定管理者	
	医療訴訟	市の責任を問われる可能性は無	>>	市の責任が問われる。	≡	市の責任が問われる。	<	設置者としての市の責任を問われる可能性がある。	設置者としての市の責任を問われる可能性がある。	